



令和3年1月29日  
こあら組だより No.31

### バーベキューごっこ

園庭のフェンス際に少し残っている落葉、砂場の上の藤の木から落ちた細い枝などを集めて、バーベキューごっこを楽しんでいます。Aさんは、「台があるから。」と言って、ビールケースを取りに走って行き、東門の横の忍者修行の奥のスペースに持ってきました。みんなで枝や葉っぱを入れていきます。Bさんは、「マッチで（火を）つけるよ。」と短い枝を持っています。私は、ワラを手の平ぐらいの大きさに結びました。子供たちは、「焼芋みたい。」と大喜びで火にくべました。火に手をかざして、「温かいねー。」「火が燃えてきたね。」となりきっています。その場にいた子みんなで、焼芋や焼けたお肉、野菜を食べ



ました。次の日、Aさんは、「火のフーフーってするの（火起こしの筒に見立てたサランラップの芯）、持ってきたよ。」と登園してきました。今日の遊びを決め、期待して登園できる姿、園と家庭の生活がつながっている姿、うれしいです。バーベキューごっこの始まりは、秋にたいよう組さんがしているのを憧れをもってみていたことなのです。異年齢で学びながら遊んでいます。

### 一緒に過ごす仲間 ～優しい気持ち、気持ちの伝え合い～

どの子も嬉しかったり、楽しかったり、ちょっと元気がなかったりなど、いろいろなときがあります。この日、Cさんは、少し元気がありませんでした。私の膝に座っていると、Dちゃんが傍に来て、「ぼくは、Cちゃんのことを大好きだよ。後で一緒に遊ぼうね。」と声を掛けてくれました。Cちゃんは、返事をする余裕もない感じでしたが聞いていました。Cさんは、しばらくして元気になると、「Dちゃんが一緒に遊ぼうって言っていたから。」とうれしそうに言って、Dちゃんの方に歩き出しました。ちょうど、一緒にブランコに乗れました。2人共、「先生、押して！」と言っています。「ほいさっさ」と掛け声を掛けながら押すと、2人は大笑いでした。「ほいさっさ」は、NHKの朝ドラ『おちよやん』で撮影監督が話す掛け声です。音の響きがおもしろいですよね。

元気がない時の支えは担任もそうですが、心を寄せてくれる友達の存在もとても大きいです。自分のハンカチで涙を拭いてくれる子、「大丈夫だよ。」と言って頭を優しくなげてくれる子などもあります。相手を尊重する気持ち、大事に思う気持ち、考えて言葉を掛けたり行動したりする姿、すごいなと思います。

鏡のように澄んだ気持ち、何事も一生懸命な姿、子供たちのドラマをみていると、子供たちなりに大変なときに支え合おうとしているので、幼稚園教員という仕事につかせてもらっていることが本当にありがたいと実感します。この10名の子供達との日々は、2か月と残り少ないです。子供たちの発想を楽しい遊びにして盛り上げ、一人一人の自信が高まっていくように関わっていきたくて考えています。